

四條畷学園新聞

No.61

2017年
9月30日発行学校法人四條畷学園
法人本部事務局〒574-0001
大阪府大東市学園町6番45号
TEL 072-876-1321
kohou@shijonawate-gakuen.ac.jp

新聞



● 学校法人四條畷学園理事長
小谷 明

平成29年6月、川崎博司前理事長の退任を受けて、小谷明副理事長が新理事長に就任しました。学園の運営と改革に注力してきた小谷新理事長。策定に大きく関わった「長期ビジョン・中期計画」を含めた、四條畷学園の今と未来について語ります。

小谷理事長は、平成25年、当時の金融行政に常務理事として本学園にの流れてきている点が多く、これまでの経験が学園のために活かされたいと思っています。まずは、理事長の信案内部統制やガバナンスを重視とほ。

小谷 「どんな組織でも大切なのは、現場と人」です。これまでの経験から、組織の強さは現場や人のモチベーション次第という確信があります。教育現場の先生方や子どもたちを第一に考えた取り組みを大前提に、その成果がこれまで経験してきた社会が求める人材像の育成につながるよう、現代社会は自立・自律型人材を求めています。当学園の育成方針は伝統的のニーズに極めて近く可能性を感じています。

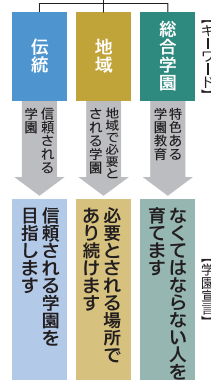
着任後は、様々な取り組みを進めてこられました。小谷 主として大学の看護学部設置準備、90周年記念誌の編集等の記念事業関係、そして100周年を見据え、持続発展可能な経営基盤の確立をめざした長期ビジョンと中期計画の策定です。

長期ビジョン・中期計画の策定の考え方や経緯をお

感謝をモチベーションに 伝統と革新をさらなる高みへ

長期ビジョン

100周年に向けた
持続発展可能な経営基盤の確立



聞かせたい。

小谷 少子化など環境の変化に鑑み、今ある学園の特色を活かしながら、経営面、教育面で必要な改革を進めよう。また、学園関係者が問題意識と方向性を共有するための指針になればと考えました。

小谷 四條畷学園の特色を「総合学園」「地域」「伝統」というかたちで整理しましたが、これは各校園へのメッセージや意見交換から生まれたものです。そのキーワードを軸に、学園の理念と、各校園の教育方針や教育実践との関係を再整理し、学園の強みとして今後に活かしたいと考えています。

小谷 創業者の牧田宗太郎先生は、2つの感謝を説いています。「自分が教育を受けられたことへの感謝」と「教える立場として、子供が喜ぶ姿を見られることへの感謝」です。自分の喜びはもちろん、他者の喜びもモチベーションになります。それを下支えするのが、ありがたい気持ちであり、「感謝する力」なんです。学園関係者の一人ひとりが、学びや生活の場を通じて、感謝の力を向上させ、周囲にとって「なくてはならない人」になることを願っています。

小谷 学園・教育改革に対する私の考え方は、「ないものを新しくつくる」というより「すでにある教育実践」を、建学の精神や教育のニーズに照らし進めさせていくこと。現場の先生方は、素晴らしい教育をすでにしています。今はアクティブラーニングが隆盛ですが、当学園の教育理念は、主体的に学ぶ意欲とアクティブラーニングの考え方に通じており、以前から実践しているんです。これはもって自信を持てて良い。ただ、

聞かせたい。

HOME COMING DAY 2017

四條畷学園 ホームカミングデーのご案内

毎年、秋に開催する四條畷学園恒例の「ホームカミングデー」。今年も屋台を出店し、懐かしい恩師や友人との旧交を温める場を提供します。ご家族、ご友人とお誘い合わせの上お越しください。

日時 2017年10月28日(土)

問合先 四條畷学園高等学校 同窓会担当
TEL 072-876-1327 (高校直通)

四條畷学園
同窓会
WEBサイト



第一部 講演会 13:00~14:00 (開場12:30)

- テーマ 健康って『いい』ね一笑門には福来たる—
講師:四條畷学園短期大学副学長 榊原和子
- 会場 四條畷学園 第二飯盛嶺校舎 9階会議室
- 会費 無料
- 対象 同窓生・旧教職員・一般

第二部 パーティー 14:30~16:30 (開場14:00)

- 会場 学園町食堂・若草庭園(予定)
- 会費 2,000円(ご家族等同伴者は無料)
- 料理 各種屋台(和食もご用意)



ハッピをはおって

『心を一つに、防火の誓い』 大東市幼年消防クラブ認定証授与式

4月25日に大東消防署 きれいに整列すると、消防課の方から、年長組頭先生から一人ずつ呼名の子も達は大東市幼年消防クラブ認定証授与式が行なわれました。年長組は幼年消防クラブのお前いのハッピをはおり、少し緊張しながら、ピアノの音に合わせて胸を張って遊戯室に入場しました。「ほくちち わたしたち



は お父さん お母さん 先生のおしえを守り ぜったいに 火あそびは しません」を斉唱しました。消防署の方から「今日からみなさんは、消防クラブの員です。」という話を聞く、誇らしい姿をみせていました。この授与式に参加したことにより、「火遊びは絶対にしてはいけない」という意識を更に強く持ったようです。授与式終了後には、とても似合っているハッピを子ども達自身できれいにたんでお返ししました。

大きな育ってね☆
屋上菜園で
野菜づくり
幼稚園には屋上菜園があります。毎年園児が野菜の苗を植えています。今年も9月にきゅうり・トマト・なす・さつま芋の苗を植えました。一つの苗を友達と一緒に大切に持ち、そっと植え、優しく育ててねと皆でお願ひしました。植えてから菜園に行きます。と野菜が少しずつ大きく

なっていく様子を見にいき「トマトが赤くなってきた」など喜びを感じた姿が見られました。また、野菜にたくさん栄養がいりくよう、子ども達自身も夏の日差しにも負けず、菜園に生えた雑草を抜き、おいしそうに収穫していました。

「赤・黄・青」何の色かわかるかな？
交通安全教育
6月12日に交通安全教育を実施しました。全園児が遊戯室に集まり、警察官の話を聞きました。子ども達の知っているキャラクターを使って信号の色の意味をわかりやすく教えてもらいました。交通安全ルールが良くわかるアニメの映画を見てより理解を深めながら、道路に見立てた園庭で実際に歩いてたくさん見られるようになっています。

初めての幼稚園生活

入園当初は「お母さんがいいよ」という涙声で聞いていましたが、そんな声も週間もすると「おはようございます」といって明るく元気な挨拶に変わってきました。毎日、先生や友達と一緒に過ごしながら、できなかったことが出来るようになったり、やってみると

なったり、やってみるといい気持ちで芽生えたりしてきました。できごとが増えたとそれが自信となり積極的に行動が出来るようになってきました。

園後、身支度を整え、自然に友達と一緒に遊び始め、友達の名前が飛び交い、毎日楽しく過ごしています。元気があふれる園庭に響き渡る声が、毎日の活動では、園の特色である、読み書き計算、体操、かけっこを4月から取り組んでいました。絵本を読むために、ひらが

ま50音を覚えて、毎日音読し、全部覚えて、園長先生からスペシャルカードがもらえるので、それも励みに頑張っていました。

走ることが大好きな子ども達。初めての頃は自分のペースだけで走っていましたが、次第に「速く走りたい」「かっこよく走りたい」という気持ちを持つて走るようになってきました。

日々の園生活で、たくさんのお話を吸収し成長し続けている子ども達の様子を見られることが、とても嬉しいですね。

の興奮も最高潮。シンペエザメの「かいくん」ゆずちゃん」が近づく泳いでくると、まだ泳げないで「と水槽にはりついて喜んで見ました。

年長児は、6月に大阪市立科学館のプラネタリウムへ。真暗になった後、一面の星が現れると「わくわく」

と大歓声が上がり、歌い出しました。その後、早朝預かり保育・預かり保育・異年齢での関わりを大切に、年長児、年中児は年少児に優しく関わる体験から、思いやりの気持ちを育んでいます。いろいろな制作にも取り組み、迎えに来られた保護者の方の目にした作品を見せ

嬉しそうに話をしながら帰る姿は、とてもほほえましい光景です。

いっきにランチ

普通は、クラスごとに各保育室で食べている給食。でもこの日はちょっと違ったランチタイムの始まりです。カラー帽子を被って、かばんの中から給食の準備を手伝ってあげてはみる先生の様子です。

いつもと違う友達やお兄ちゃん、お姉ちゃんと一緒に食べる給食はいつも以上にうれしく感じられる様子で、あっといって食べ終わってしまいました。次はこの保育室に行こうかなと子ども達の中、年長児が年

少児の手をとり、「こっちおいで」と席に案内してくれました。かばんの中から給食の準備を手伝ってあげてはみる先生の様子です。

5月に年中・年長児は春の遠足で海遊館に行きました。年長児にとっては初めての観光バスに乗って遠足です。友達や先生とバスの中で歌を歌ったり、

話をしたりしながら、向かいいます。生き物や餌を運搬する専用の大きなエレーターに乗り、家族で行く時とは違うルートを使うことで、子ども達

の興奮も最高潮。シンペエザメの「かいくん」ゆずちゃん」が近づく泳いでくると、まだ泳げないで「と水槽にはりついて喜んで見ました。

年長児は、6月に大阪市立科学館のプラネタリウムへ。真暗になった後、一面の星が現れると「わくわく」

と大歓声が上がり、歌い出しました。その後、早朝預かり保育・預かり保育・異年齢での関わりを大切に、年長児、年中児は年少児に優しく関わる体験から、思いやりの気持ちを育んでいます。いろいろな制作にも取り組み、迎えに来られた保護者の方の目にした作品を見せ

嬉しそうに話をしながら帰る姿は、とてもほほえましい光景です。

の興奮も最高潮。シンペエザメの「かいくん」ゆずちゃん」が近づく泳いでくると、まだ泳げないで「と水槽にはりついて喜んで見ました。

ザリガニ釣り!!

皆さん！ザリガニは好きですか？どんなところが好きですか？色？獲物を狙うしくさとか・・・幼稚園恒例のザリガニ釣りのポスターを見ると「今年もこの季節がやってきた！」と大声で叫んでしまいますね。ザリガニは育てやすい生き物。お家の人とザリガニの飼育を通して観察を、生き物の不思議と大切さを学んでください。

Q1 オス・メスはどこで見分けますか？

Q2 ザリガニは皮を剥く方法ありますか？

園庭開放デビュー

正門をくぐるとかわいい先生がお出迎え。防犯上、受付で簡単なアンケートに記入していただきますが、思いっきり遊べます。やさしく開放感に包まれた幼稚園の園庭で、ユニークな先生が駆け寄り、話しかけ、ベテランの先生が見守ってくれる・・・お楽しみもありですよ。園庭開放でお友達になったみんなが歌やダンス、紙芝居などを見て最後には手作りおもちゃのお土産。なんて盛りだくさん!! 公園デビューの後は、園庭開放デビューはいかがでしょう？

みんなで楽しいひとときを!

海遊館とプラネタリウムに感動と大興奮! 園外保育



5月に年中・年長児は春の遠足で海遊館に行きました。年長児にとっては初めての観光バスに乗って遠足です。友達や先生とバスの中で歌を歌ったり、

話をしたりしながら、向かいいます。生き物や餌を運搬する専用の大きなエレーターに乗り、家族で行く時とは違うルートを使うことで、子ども達

の興奮も最高潮。シンペエザメの「かいくん」ゆずちゃん」が近づく泳いでくると、まだ泳げないで「と水槽にはりついて喜んで見ました。

年長児は、6月に大阪市立科学館のプラネタリウムへ。真暗になった後、一面の星が現れると「わくわく」

と大歓声が上がり、歌い出しました。その後、早朝預かり保育・預かり保育・異年齢での関わりを大切に、年長児、年中児は年少児に優しく関わる体験から、思いやりの気持ちを育んでいます。いろいろな制作にも取り組み、迎えに来られた保護者の方の目にした作品を見せ

地産地消の民泊体験を軸に、必修体験と選択型体験がメインプログラム

5月17日～19日まで、5年生はカントリーステイに。子どもたちが3名前後の小グループに分かれ、和歌山県西牟婁郡白浜町日置の農家に分宿しながら実際の農村の生活を体験する行事です。

お米は、日置川でとれた野菜と合わせて学校に送っていただく予定です。子どもたちの感想から、「みきちゃん(民泊の方)とキュッとした瞬間、涙が出てきそうになった。



田植えやみそ作りに挑戦
カントリーステイ



(中略)いすに座ったならなげかたさんの涙が流れ、窓からみきちゃんに手を振った。1夜、車で山登って暑くなった。とてもきれいな夜空でした。空にあめ玉がたたく音あつて、今にも落ちてきそうでした。その時の私だった。落ちてきたあめ玉はすぐに拾って食べたと思う。本当にきれいな星だった。

自然の豊かさや人の温かさ、伝統文化の大切さを実感した。日置川でとれたお米は、日置川でとれた野菜と合わせて学校に送っていただく予定です。

5月17日～19日まで、5年生はカントリーステイに。子どもたちが3名前後の小グループに分かれ、和歌山県西牟婁郡白浜町日置の農家に分宿しながら実際の農村の生活を体験する行事です。

お米は、日置川でとれた野菜と合わせて学校に送っていただく予定です。子どもたちの感想から、「みきちゃん(民泊の方)とキュッとした瞬間、涙が出てきそうになった。

5月17日～19日まで、5年生はカントリーステイに。子どもたちが3名前後の小グループに分かれ、和歌山県西牟婁郡白浜町日置の農家に分宿しながら実際の農村の生活を体験する行事です。

お米は、日置川でとれた野菜と合わせて学校に送っていただく予定です。子どもたちの感想から、「みきちゃん(民泊の方)とキュッとした瞬間、涙が出てきそうになった。

5月17日～19日まで、5年生はカントリーステイに。子どもたちが3名前後の小グループに分かれ、和歌山県西牟婁郡白浜町日置の農家に分宿しながら実際の農村の生活を体験する行事です。

お米は、日置川でとれた野菜と合わせて学校に送っていただく予定です。子どもたちの感想から、「みきちゃん(民泊の方)とキュッとした瞬間、涙が出てきそうになった。

5月17日～19日まで、5年生はカントリーステイに。子どもたちが3名前後の小グループに分かれ、和歌山県西牟婁郡白浜町日置の農家に分宿しながら実際の農村の生活を体験する行事です。

お米は、日置川でとれた野菜と合わせて学校に送っていただく予定です。子どもたちの感想から、「みきちゃん(民泊の方)とキュッとした瞬間、涙が出てきそうになった。

5月17日～19日まで、5年生はカントリーステイに。子どもたちが3名前後の小グループに分かれ、和歌山県西牟婁郡白浜町日置の農家に分宿しながら実際の農村の生活を体験する行事です。

お米は、日置川でとれた野菜と合わせて学校に送っていただく予定です。子どもたちの感想から、「みきちゃん(民泊の方)とキュッとした瞬間、涙が出てきそうになった。

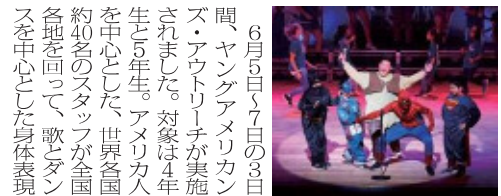
5月17日～19日まで、5年生はカントリーステイに。子どもたちが3名前後の小グループに分かれ、和歌山県西牟婁郡白浜町日置の農家に分宿しながら実際の農村の生活を体験する行事です。

お米は、日置川でとれた野菜と合わせて学校に送っていただく予定です。子どもたちの感想から、「みきちゃん(民泊の方)とキュッとした瞬間、涙が出てきそうになった。

5月17日～19日まで、5年生はカントリーステイに。子どもたちが3名前後の小グループに分かれ、和歌山県西牟婁郡白浜町日置の農家に分宿しながら実際の農村の生活を体験する行事です。



ヤングアメリカンズ・アウトリーチ パワー&テンション全開!



6月5日～7日の3日間、ヤングアメリカンズ・アウトリーチが実施されました。対象は4年生と5年生。アメリカ人を中心とした、世界各国約40名のスタッフが全国各地を回って、歌とダンスを中心とした身体表現

活動を指導します。小学校の体育館と大東市サードホールを使い練習を積み上げました。仕上げは、最終日の夕方にサードホールでのミュージカル上演。初日はハイテンションのスタンプに圧倒された子どもたちも、あっという間に慣れて、同じテンションに。愛するベリ学園小パワーです。ミュージカルを鑑賞したいけど、保護者の方々からも、賛同の声をちょうだいしたい。

初日は大変緊張した様子の子も多かったが、すぐに新しい環境に慣れ、心配していたホームシックもほとんどなく、5年生・6年生20人の希望者によるオーストラリア生活体験旅行が実施されました。行き先は、フランス郊外にあるファンダルハイツ小学校。この学校で学習する体験とホームステイを軸として、異文化を体験しました。ホームステイでは、各家庭にひとりずつ泊まり、

初日は大変緊張した様子の子も多かったが、すぐに新しい環境に慣れ、心配していたホームシックもほとんどなく、5年生・6年生20人の希望者によるオーストラリア生活体験旅行が実施されました。

初日は大変緊張した様子の子も多かったが、すぐに新しい環境に慣れ、心配していたホームシックもほとんどなく、5年生・6年生20人の希望者によるオーストラリア生活体験旅行が実施されました。

初日は大変緊張した様子の子も多かったが、すぐに新しい環境に慣れ、心配していたホームシックもほとんどなく、5年生・6年生20人の希望者によるオーストラリア生活体験旅行が実施されました。

初日は大変緊張した様子の子も多かったが、すぐに新しい環境に慣れ、心配していたホームシックもほとんどなく、5年生・6年生20人の希望者によるオーストラリア生活体験旅行が実施されました。

初日は大変緊張した様子の子も多かったが、すぐに新しい環境に慣れ、心配していたホームシックもほとんどなく、5年生・6年生20人の希望者によるオーストラリア生活体験旅行が実施されました。

初日は大変緊張した様子の子も多かったが、すぐに新しい環境に慣れ、心配していたホームシックもほとんどなく、5年生・6年生20人の希望者によるオーストラリア生活体験旅行が実施されました。

初日は大変緊張した様子の子も多かったが、すぐに新しい環境に慣れ、心配していたホームシックもほとんどなく、5年生・6年生20人の希望者によるオーストラリア生活体験旅行が実施されました。

初日は大変緊張した様子の子も多かったが、すぐに新しい環境に慣れ、心配していたホームシックもほとんどなく、5年生・6年生20人の希望者によるオーストラリア生活体験旅行が実施されました。

初日は大変緊張した様子の子も多かったが、すぐに新しい環境に慣れ、心配していたホームシックもほとんどなく、5年生・6年生20人の希望者によるオーストラリア生活体験旅行が実施されました。

初日は大変緊張した様子の子も多かったが、すぐに新しい環境に慣れ、心配していたホームシックもほとんどなく、5年生・6年生20人の希望者によるオーストラリア生活体験旅行が実施されました。

初日は大変緊張した様子の子も多かったが、すぐに新しい環境に慣れ、心配していたホームシックもほとんどなく、5年生・6年生20人の希望者によるオーストラリア生活体験旅行が実施されました。

初日は大変緊張した様子の子も多かったが、すぐに新しい環境に慣れ、心配していたホームシックもほとんどなく、5年生・6年生20人の希望者によるオーストラリア生活体験旅行が実施されました。

初日は大変緊張した様子の子も多かったが、すぐに新しい環境に慣れ、心配していたホームシックもほとんどなく、5年生・6年生20人の希望者によるオーストラリア生活体験旅行が実施されました。

初日は大変緊張した様子の子も多かったが、すぐに新しい環境に慣れ、心配していたホームシックもほとんどなく、5年生・6年生20人の希望者によるオーストラリア生活体験旅行が実施されました。

初日は大変緊張した様子の子も多かったが、すぐに新しい環境に慣れ、心配していたホームシックもほとんどなく、5年生・6年生20人の希望者によるオーストラリア生活体験旅行が実施されました。

初日は大変緊張した様子の子も多かったが、すぐに新しい環境に慣れ、心配していたホームシックもほとんどなく、5年生・6年生20人の希望者によるオーストラリア生活体験旅行が実施されました。

初日は大変緊張した様子の子も多かったが、すぐに新しい環境に慣れ、心配していたホームシックもほとんどなく、5年生・6年生20人の希望者によるオーストラリア生活体験旅行が実施されました。

友情芽生えた 船での学び びわ湖フロッティ ングスクール

8月30日より泊二日、びわ湖フロッティングスクールが開催されました。5年生の希望者を中心とした滋賀県教育委員会の初参加、5年生4名が

8月30日より泊二日、びわ湖フロッティングスクールが開催されました。5年生の希望者を中心とした滋賀県教育委員会の初参加、5年生4名が

8月30日より泊二日、びわ湖フロッティングスクールが開催されました。5年生の希望者を中心とした滋賀県教育委員会の初参加、5年生4名が

8月30日より泊二日、びわ湖フロッティングスクールが開催されました。5年生の希望者を中心とした滋賀県教育委員会の初参加、5年生4名が

8月30日より泊二日、びわ湖フロッティングスクールが開催されました。5年生の希望者を中心とした滋賀県教育委員会の初参加、5年生4名が

8月30日より泊二日、びわ湖フロッティングスクールが開催されました。5年生の希望者を中心とした滋賀県教育委員会の初参加、5年生4名が

8月30日より泊二日、びわ湖フロッティングスクールが開催されました。5年生の希望者を中心とした滋賀県教育委員会の初参加、5年生4名が

8月30日より泊二日、びわ湖フロッティングスクールが開催されました。5年生の希望者を中心とした滋賀県教育委員会の初参加、5年生4名が

8月30日より泊二日、びわ湖フロッティングスクールが開催されました。5年生の希望者を中心とした滋賀県教育委員会の初参加、5年生4名が

8月30日より泊二日、びわ湖フロッティングスクールが開催されました。5年生の希望者を中心とした滋賀県教育委員会の初参加、5年生4名が

8月30日より泊二日、びわ湖フロッティングスクールが開催されました。5年生の希望者を中心とした滋賀県教育委員会の初参加、5年生4名が

8月30日より泊二日、びわ湖フロッティングスクールが開催されました。5年生の希望者を中心とした滋賀県教育委員会の初参加、5年生4名が

8月30日より泊二日、びわ湖フロッティングスクールが開催されました。5年生の希望者を中心とした滋賀県教育委員会の初参加、5年生4名が



チームでチャレンジ!

6月26日～28日の3日間、3・4年生は自然学校に行ってきました。場所は、琵琶湖の東岸、豊かな自然に恵まれた近江八幡休暇村です。3・4年生の縦割り活動、チームチャレンジの体験を組み込んだ今年初の行事です。

初日は各グループでチームチャレンジに挑戦。ファシリテーターの指導の下、「増え鬼」などのゲームを通して共通の課題に取り組みました。

2日目の午前中はカタマラン体験。カタマランという双胴船に10人グループで乗り込み、パドルの使い方を教わり、ライフジャケットを着着して湖に飛び込むなど楽しみました。

午後には、いかだ体験。各グループでロープを使い、いかだを組み上げていきます。完成したいかだには、チームのシンボルである旗を掲揚。この旗にはそのチームの目標やチームチャレンジの感想などが描かれています。

いかだレースでは、各チーム琵琶湖に向かって



で漕いでいき、目標物にタッチして戻ってきます。子どもたちだけでパドルを操り、みんなが意欲を燃やしながら漕いでいました。勝敗は二の次。このチームチャレンジを通してグループの中で他の意見を聞いたり、自らの意見を主張したり、課題を乗り越えていくためにどうしたらいいのか考え行動していくことを学びました。子どもたちは一回り成長して帰ってきました。この体験を今後の学校生活に生かしていってほしいと思っています。



快晴の中遠泳にもチャレンジ

7月19日～21日、5・6年生は京都府京丹後市浜詰にある、夕日ヶ浦まで臨海学校へ行きました。3日間とも見事な快晴。2



日目は最高気温が37度と焦げるような暑さでした。子どもたちの顔は水泳帽の跡がくっきり。健康そのものの顔が砂浜に勢揃いしました。

1日目と2日目の夕方、散歩があります。男女別々の宿舎、おまけに宿舎間はかなり離れています。遠く女子の団が見えると、男子の子達は「やったあ」等の声で急にざわつき始めました。しかし、いざ女子の団とすれ違うとき、男子は全員が沈黙。女子のざわつきの音が通り過ぎていきました。この時期の子どもたちは複雑です。3日目に

行われた遠泳は全員が完泳。職員を含め真っ黒の集団が大坂に無事に帰ってきました。

平成29年度 第1回漢字検定結果

3級(中学卒業程度)	
5年	
5級: 12名	8級: 10名
6級: 15名	9級: 18名
7級: 8名	10級: 3名

クラスの結束 高まる充実の一日 スポーツ大会

6月15日、全校生徒参加のスポーツ大会が開催されました。毎年、1年生はドッジボール、2年生はバレーボールやバドミントン、ソフトボールの各競技に分かれ参加します。それぞれのクラスが優勝をめざし、屋外体育の時間に練習を重ねていました。当日は大きな声援が飛び交い、



クラスが優勝をめざし、屋外体育の時間に練習を重ねていました。当日は大きな声援が飛び交い、クラスの結束力がさらに深まる充実した一日となりました。

今年主将が大坂選抜として全国へ
3月25日〜28日に東京都三鷹市でJOCジュニアオリンピックカップ第13回都道府県対抗全日本中学生ソフトボール大会が行われました。3年生(大金時2年生)の今中希美さんが大阪選抜チームのキャプテンとして出場しました。その後も本

プテンとしてチームを率い、全国大会出場を目指し頑張ってくれました。

さんが書道で快挙
3年生のさんが書道の高野山競書大会において、金剛峯寺賞を受賞しました。この賞は数ある賞のうち、文部科学大臣賞などに続いて上から4番目の賞です。これからのますますの躍進を期待します。

クラブクローズアップ 野球部

6年ぶりの大阪大会で躍動！ 中央大会めざして始動！

8月3日より花園中央公園野球場で開催された第68回大阪中学校優勝野球大会に出場。ベスト16まで勝ち進みました。厳しい予選を勝ち抜いた末の6年ぶりの出場ということもあり、たくさんの方に応援に来ていただきました。それが後押しとなり、初戦の豊中七中戦に5対1で逆転勝利。球場に校旗が掲揚される中、大きな声で学園歌を斉唱することができました。

日頃から多くの応援の声を頂いています。この場を借りてお礼申し上げます。新たなチームは13名で始動。中学球児の「甲子園」、花園球場での中央大会出場をめざして、これからも頑張りたいと思います。



「ピース」を テーマに例年以上 の盛り上がり！ 文化祭



9月23日・24日に文化祭が開催されました。今年

年のテーマは「ピース」。1日目の展示の部では1年生は一人一枚万国旗を作成し、中庭を色とりどりの旗で飾りました。2年生は脱出ゲーム、緑目模様の展示など各クラス工夫を凝らし楽しい展示となりました。文化系クラブの展示にも多くの方が訪れ、盛り上がりました。生徒会による復興支援活動にも多くの方に協力していただき、ありがとうございました。

身につけた「一生の思い出と頼もしさ」
第22回NZ海外研修
7月31日から8月14日までの15日間に渡り、第22回ニュージーランド海外研修を実施しました。今年30名の生徒が参加し、各々ホームステイをしながら、様々な活動を通して異文化を体験しました。



お世話になったのは、首都ウェリントンから車で1.5時間ほどの位置にあるマスタートン市にあるマスタートンインターミディエイトスクール(MIS)という学校。学校を挙げての歓迎や、異文化体験プログラムのサポートなど、長年に渡って築いてきた姉妹校関係の中で、本当に充実した2週間を過ごしました。

現地でお世話になった先生方やホストファミリーをはじめ、本校で研修に携わってくださった先方生方に感謝しつつ、この素晴らしい行事がいつまでも続くことを願ってやみません。

大学の枠を超えた絆
たくさんさんの体験
大阪大学員学
6年一貫コース
大阪大学副学長の吉川秀樹先生(6年一貫コーススパーアドバイザー)に

会に行ってきた。毎年、1年生が先生の働く現場を案内していただいています。病院内での見学や講義に加えて、質問や体験など、大変貴重な時間を過ごすことができてほしいと思います。

さました。昼食は学食を利用し、大学の雰囲気味わいました。6年一貫手帳(自分レポート)に自分なりに活かしていることを書いています。

したスタンツで盛り上げてくれました。入学してすぐの宿泊研修でしたが、この研修を通して、時間を守ること、自然と親しむこと、そして多くの友達をつくることという3つの目的を達成しようと、がんばった3日間でした。

大自然でアスレチック

●遠足



5月16日に六甲山フィールドアスレチック・カンツリーハウスへ。天候に恵まれ、大自然の中でたくさん身体を動かしてアスレチックを楽しみました。友人们とも友情をさらに深められた行事となりました。

子供たちの新しい一面をたくさん発見できた充実した宿泊研修でした。

サイクリングを満喫

●遠足

5月1日に関西サイクルスポーツセンターへ。班のメンバーでサイクリングコースを周ったり、変わり種自転車という特殊な自転車を色々乗り比べたり、現地の乗り物や迷路に挑戦したり、と充実した一日を過ごしました。



ました。その後、漁業や特産品作りの体験学習も行ないました。4日目は仙台東で松島遊覧船など8つのコースに分かれて、班毎にタクシー研修を行ないました。学び、遊び、体験し、友情を深めた4日間でした。

史跡・寺院 明日香村めぐり

●遠足

5月1日に毎年恒例の奈良県明日香村へ。自転車を使ってさまざまな史跡や寺院をめぐるの、何週間も前からグループに分かれてコースを考えたり、拝観料の計算をしたりと、取り組まれました。さまざまな史跡めぐりと美味しいお弁当など、奈良・明日香を存分に満喫しました。

史跡・寺院 明日香村めぐり
●遠足
5月1日に毎年恒例の奈良県明日香村へ。自転車を使ってさまざまな史跡や寺院をめぐるの、何週間も前からグループに分かれてコースを考えたり、拝観料の計算をしたりと、取り組まれました。さまざまな史跡めぐりと美味しいお弁当など、奈良・明日香を存分に満喫しました。

場所はすべて中学校若草校舎6F体育館。事前申込不要。
※プレテストはHPより事前申込可能。

●第2回入試説明会(プレテスト) 10月14日(土)14:00
●第3回入試説明会(プレテスト) 11月11日(土)14:00
●第4回入試説明会(入試説明会) 12月2日(土)14:00

●1次試験 平成30年1月13日(土) 8:40集合
●2次試験A 平成30年1月15日(月) 15:00集合
●2次試験B 平成30年1月20日(土) 8:40集合

各検定合格者数

●平成29年度 漢字検定	2級	準2級	3級	4級	5級
1学期(6月3日)実施分	1	15	27	21	9
●平成29年度 英語検定	2級	準2級	3級	4級	
1学期(6月4日)実施分	3	16	29	17	
●平成29年度 数学検定	2級	準2級	3級	4級	5級
1学期(6月24日)実施分	1	5	19	11	2

1年生



青い海で頑張った3日間

●宿泊研修

4月30日〜5月2日の二泊三日、福井県にある国立若狭湾青少年自然の家へ宿泊研修に行ってきました。今年の研修は天気にも恵まれ、全クラスがカッター訓練や、ボート遊びや、磯観察を楽しみました。カッター訓練ではみんなで力を合わせて「それれ！」の掛け声で、青い海を沖まで漕いで行きました。磯観察では箱めがねを使い、イソギンチャクやウニを見つけ、歓声が上がっていました。

夜のキャンプファイヤーは強風のため、屋内のキャンドルサービスに変更になりましたが、各クラス工夫

2年生

新しい一面をたくさん発見
●宿泊研修

5月12日〜15日に岡山県吉備高原での宿泊研修に行きました。別名「サバイバルキャンプ」!!毎日3食を自分たちで調理し、日中は野外活動をする行事です。かまどを使っ

ての飯盒炊爨にみんな四苦八苦していましたが、3日目にはあつという間に火をつけて、さっと調理に取りかかる班がたくさんありました。普段の生活では中々見られない、

3年生



命の大切さと復興への歩みを学ぶ

●修学旅行

5月13日〜16日の3泊4日、東北地方へ修学旅行に行きました。1日目は平泉で世界遺産の中尊寺(金色堂)を拝観しました。2日目は秋田の日本最古の芝居小屋「康楽館」で観劇したのち、岩手の小岩井農場でジギスカンを食べ、乗馬やアーチェリーなどを楽しみ自由に過ごしました。3日目は南三陸での震災学習です。大津波に襲われた被災地区を実際に巡り、目で見て感じ、語り部の方の話を聞き、震災の大きさと悲惨さに驚くと同時に、命の大切さや復興への歩みを勉強しました。「さんさん商店街」で昼食を取り買い物もし

入試説明会・入学試験のご案内

入試説明会

入学試験



保育学科

2007(平成19)年度からはじめた「ステージアップセミナー」は、今年度も教員を中心に学科全体で取り組

今年も7月29日、31日の両日のわたり、保育

を中心に、近隣の方を含めて来校いただき多くの観衆に包ま

この「夏の保育祭」は「音楽表現」「造形表現」「身体表現」の3分野を統合し、本学独自の「総合表現」に上っています。

つまり、シナリオ、BGMや背景画、衣装に及ぶまで、ほぼ全部学生自身が作り上げています。

また、今年も演じている学生とフロアで鑑賞してくれている子どもたちの間に、微笑ましいやり取りが広がり、思わず会場にいられている皆様の笑顔を誘う場面が見られました。

将来の保育現場で生かせる経験 夏の保育祭 第23回子どもミュージカル



演技じった学生は、この経験が来年以降の保育現場で大いに役立つことを実感したとてし

めざせ! なわてジェンヌ —素敵な保育者養成をめざして—

ステージアップセミナー

今年度の前期は13回の講座を設け、①マナーでは「きれいなメイク力」のセミナーを②教養では「大学での学びの単位認定を受けるための心構え」を③夫、本学員教授である長谷川義史先生による「絵本ワークシヨップ」④保育技術では恒例となった本学卒業生の岡野伊都子さんによる「楽しい保育技術」などを学びました。さらに今年度も昨年度よりはじめた「絵本ソムリエ」に養成に加えて、幅広い技術を身に付けるために「けん玉ソムリエ」「手遊びソムリエ」「工作ソムリエ」とソムリエのレバトリを拡充しました。

今回のセミナーは多くの学生が受講しており、各講座においても一人ひとりの意欲的な取り組みが見られた等、「なわてジェンヌ」を旨とする姿勢が十分に感じ取れました。

保育学科からのお知らせ

●秋の保育祭「こどもげきじょう」

日時：11月12日(日)10:00開演
場所：総合ホール5階講堂
短大生による人形劇、ミュージカル、幼稚園児おうた 他

●定期演奏会

日時：11月12日(日)14:00開演
場所：総合ホール4階グリムホール
短大生によるピアノ、声楽、合唱などの演奏

ライフデザイン総合学科総合福祉コース

写真は、介護福祉学科一期生の年から発行され続けている事例研究論文集「軌跡」全9巻です。すべて手作りの冊子で、下段の第5号からは表紙と論文の写真などがカラー印刷になり、見やすく改良されてきました。

そしていま、学生たちは最終号の「軌跡」作りに取りかかっています。先般、学生たちは1週間、最終段階の介護実習で、受けも利用者を選び、あらゆる情報を集め判断して、その人に適した、本当に必要なケアを提供するための個別援助計画を立て、実施、評価してきました。その実践が、本くに利用者を通していたのか、自己満足に過ぎなかったのではないかなどについて、入学後に学んだ知識や技術を総動員して、理論的・客観的に振り返り、事例研究

介護事例研究論文集「軌跡」 発刊にむけて邁進中



総合福祉コース さよならパーティーのご案内

- 日時 平成30年1月13日(土) 10:00~14:00
- 場所 第1部 介護事例研究発表会 (清風学舎 6F 記念ホール)
第2部 さよならパーティー (清風学舎 5F 503教室)

そして事例発表会の後には、『総合福祉コース・さよならパーティー』を実施する計画もしています。当日は、一人でも多くの卒業生や先生方にご出席いただき、在校生や現教職員と一緒に、思い出のエピソードなどを語り合いたいものです。

ライフデザイン総合学科



ライフデザイン総合学科は昨年引き続き、(株)サードメディアより、全国の大学・短期大学の部において、「優秀

2年連続の「優秀校」表彰 毎日の積み重ねが大切

校」として表彰されました。オフイスワークをはじめ就職には欠かせない、ワードやエクセルなどのIT関連技能

このようにライフデザイン総合学科の学生は、2年間という短い時間を濃密に過ごし、「なりたい自分」に向けて日々邁進しています。

検定試験において、本学が合格者数のみならず成績の上でも優秀者を多数輩出したということで、全国の最優秀校3校に次ぐ4位の成績で表彰されました。今後も一人でも多く、優秀な成績の合格者を輩出するために、そして次は最優秀校に選ばれることを目標にして、学生と教員が丸い一丸となって学んでいます。

同学科では、一般企業や病院への就職を希望する学生が多いですが、「一所懸命に学んだ証として、就職に少しでも有利になるように、多くの先輩がいました」

大学説明会&相談会

医療への理解をより深める



5月28日、看護学部とリハビリテーション学部の合同入試説明会を開催。

1部では、在学生による学部の紹介、教員によるカリキュラムの説明とチーム医療の模擬授業を行いました。授業テーマは、「チーム医療—看護師・理学療法士・作業療法士が共に学び、共に働くとは?—」です。事例を通して「急性期医療(救急搬送時)から在宅(退院)への移行期」までを患者さんの経過を、講義とロールプレイを用いて、チームの中で3職種がどのような役割を担い、支援するのを知っていただきました。

2部の学生交流では、入学後の学習方法、学生生活の過ごし方、教職員のサポート体制など、在学生1線での大学を紹介しました。また、体験型学生交流では、学部の特徴にあわせた演習体験や模擬授業を行いました。

参加者から「漠然としていた医療者の役割やチーム医療について具体的に知ることができ、11指す職種のイメージが持てるようになった。」等の感想をいただきました。

特別講義も大学ブースも大盛況! 夢ナビライブ2017

夢ナビライブとは、インテックス大阪で開催される大学研究&学問発見のための大学合同進学ガイダンス。今年は6月17日に開催され、昨年を上回る26,409名の高校生、保護者の方が来場しました。本学からは3名の教員が講師として参加。講義は大盛況でした。会場には大学の大型看板を設置し、個別説明ブースには昨年以上の高校3年生・保護者の来訪があり、本学のPRに繋がりました。



作業療法における動物の可能性

野口裕美教授 リハビリテーション学部作業療法専攻

障がいのある人への補助の1つに、動物を介した方法があります。例えば、体の片側が麻痺した人が歩くときには、歩行パターンに支障が出ます。通常は杖や歩行器など自助具と呼ばれる福祉機器を利用してバランスを取ります。介助犬を利用する方法では、訓練を繰り返す中で絶妙なところで推進力やブレーキを与え、スムーズな歩行を実現させてくれます。介助犬にはロボットや器具では成し得ないことを実現できる可能性があり「生きた自助具」とも。医療現場では介助犬の効果によって、障がいのある人が「次の一歩」を踏み出すことが期待されています。

病氣と共にその人らしく生活するための支援

藤永新子准教授 看護学部

【病氣と共にその人らしく生活するための支援】をテーマに講義を行いました。特に糖尿病や生活習慣病などの慢性的疾患は自覚症状に乏しく、生涯において自分自身で病氣をコントロールすることが求められます。そのため、病氣のために何かを我慢するのではなく、病氣と

共にその人らしい生活を送っていくための支援を中心に看護の役割を伝えました。具体的には、無理なく生活に取り入れるための小さな目標の選択、達成感を抱ける関わり等、セルフマネジメント支援について説明し、近年のネットワークの普及によりICTを利用した患者支援についても紹介しました。

患者さんに希望を与える理学療法士

青木修教授 リハビリテーション学部理学療法専攻

脊髄損傷患者さんの障がい受容と理学療法士の関わり方について話をしました。中途障がいは失った機能に固執してなかなか人生を先に進められないことが多いのですが、生活の質を考えると同じ中途障がいの人の活躍を知ること、新たな人生の目標を設定することができま

す。その過程において、経験と知識を持った理学療法士が関わることが重要となります。内容を聞きながらメモを取っている生徒もあり、将来の自分の目標に向けて熱心に学ぶという意欲が伺えました。

市民公開講座「いきいき生きる」

2025年問題と幸せホルモン

7月1日、16回目となる市民公開講座は「生活習慣のすすめ」第三弾、最終章。

看護学部の中村陽子教授が「共に暮らす地域の力」を、リハビリテーション学部の野口裕美教授は「ペットと健康に暮らす」をテーマに、講演を行いました。



中村教授は、少子・超高齢化・人口減社会といった社会の変化と、団塊の世代が75歳を迎える2025年問題、その2025年には認知症高齢者が700万人を超えるという推計される中で、「住み慣れた

地域で、自宅で最期まで暮らす続けるために、モデルのない時代をどう生きるのか」について話をされました。

野口教授からは、ペットとの触れ合いで、ヒトと動物の双方へ「幸せホルモン」と呼ばれるオキシトシンがより活発に分泌されることを報告。リラクゼーション効果や安心・信頼といった感情を引き起こす効果があること、医療の中で動物を介在させて治療する「動物介在療法」や、障がい者へのQOL(生活の質)の向上を果たす存在であることを紹介しました。



看護学部

子ども達の目線に立つ

チャイルドレジリエンス体験

6月18日、第2回チャイルドレジリエンス体験イベントを開催。看護学部では、生徒58名、保護者33名が参加し、

「子ども達の目線に立つ」をテーマに、チャイルドレジリエンス体験を行いました。子ども達の目線に立つことで、子ども達の感情や行動を理解し、専門職としての連携や看護職の役割を



療法の体験を通して、その意義や作業療法士の専門性を理解し、専門職としての連携や看護職の役割を

ました。「ミルキー」は、二歳児の頃に、チャイルドレジリエンスを体験。在学生による説明や、先生方の感想もいただきました。」という感想をいただきました。

よの意識する貴重な体験となりました。

ての特色を生かし、四條畷学園高校とも高大連携を行っています。6月には「バイタルのサインの計測と観察」というテーマで授業を実施。2年生26名が参加し、呼吸・脈拍の計測、聴診器を用いた陽音の聴取など、身体が発する様々なサインの計測や観察を通して、看護の役割について考えました。

入試対策講座&相談会

平成30(2018)年度 四條畷学園同窓会特別入試・公募推薦入試



「新人」理学療法士240名が参加臨床理学療法セミナー2017

田丸佳希講師の研究を採択

「新人」理学療法士240名が参加臨床理学療法セミナー2017

「新人」理学療法士240名が参加臨床理学療法セミナー2017

OT分科会総会を開催

入試対策講座&相談会

れる予定です。

